議 事 録(概 要)

会議名	令和4年度 第1回守山市生涯歯科保健推進協議会
開催日時	令和4年6月30日(木) 午後1時30分から午後3時まで
開催場所	守山市立図書館 多目的室
委員出席者	岡本委員、松川委員、今井委員、高田委員、野々村委員、林委員、戸梶委員、兼松委員 (10名中8名出席) 欠席：吉田委員、胡井委員
事務局	健康福祉部 沖田理事、池田次長 すこやか生活課 森口課長、川中参事、金沢係長、岩波主任、清水歯科衛生士、中野歯科衛生士
傍聴者	なし
会議次第	1 開 会 2 報告事項 (1) 令和3年度の歯科保健事業の取組結果について 3 協議事項 (1) 令和4年度の歯科保健事業の取組予定(進捗状況)について ・歯周病予防のための取組について (2) 健康関連計画の市民アンケート調査について
会議資料	・令和4年度生涯歯科保健推進協議会委員名簿 ・守山市生涯歯科保健推進協議会設置要綱 資料1：令和3年度および令和4年度の歯科保健事業の取組結果(進捗状況)について 資料2：歯周病予防のための取組について 資料3-1：健康関連計画の市民アンケート調査の実施について 資料3-2：【次期健康関連計画】アンケート項目について 【参考資料】 参考資料1：歯科保健推進状況シート 参考資料2：令和4年度歯科保健推進スケジュール 参考資料3：ライフステージ別 歯科保健事業の取組(一覧表) 【当日配付資料】 ・守山市の検(健)診のお知らせ

1 開 会

2 報告事項

(1) 令和3年度の歯科保健事業の取組結果について

3 協議事項

(1) 令和4年度の歯科保健事業の取組予定（進捗状況）について

・ 歯周病予防のための取組について

事務局	資料1、資料2に基づき説明
岡本委員 (会長)	<p>説明内容について質問はないか。</p> <p>守山市は近隣他市より啓発、計画が手厚い。コロナの影響もあるなか事業を進め、成果が出ている。粛々と進めてほしい。</p> <p>歯周病検診について、多少減少はあったものの、50歳以降受診率が少なくなるのが課題。</p> <p>説明のあったナッジ理論、ポピュレーションアプローチについて補足してほしい。</p>
事務局	<p>健診は予防のために受けていただくことが、まず大事と考えている。</p> <p>ナッジとは「受診者の背中をそっと押す」という意味で使われている。国保の特定健康診査やがん検診の個別勧奨に取り入れた結果、受診率が上がったので、今年度から歯科でも取り入れた。</p> <p>ポピュレーションアプローチとは集団に対して健康教育などの啓発の活動を行うこと。</p> <p>今回は、推定野菜摂取量測定イベントを実施する際に食事と歯が関連するので、歯周病の啓発をしたいと思っている。しかし、大掛かりな検診はできないので、簡易にできる歯周病検査キットを取り入れる予定。舌を綿棒でぬぐい、歯周病リスクの判定ができるもの。これをきっかけに歯科健(検)診につながればと考えている。</p> <p>ナッジ理論について補足。何か行動を起こす時に、ハードルを低くする意味もある。そのため、封書ではなく、中身をすぐ確認できるはがきにすること、検診の予約フローを記載するなど、ハードルを下げる努力をしている。</p>
松川委員	<p>資料1の2ページについて。</p> <p>20歳から39歳の中に妊婦が含まれているのか。</p>
事務局	その通り。

松川委員	<p>20人から30人は、妊婦でも無料の40歳でもない人で1,000円払っても受けてほしい人。なので「なぜ受けようと思ったのか」を確認するのも良いのではないかと。</p>
事務局	<p>今年度より変更した予診票の項目で、きっかけを訊く仕様になっている。印象としてはチラシの啓発などよりも、直接対面で案内（啓発）した方が受診する人は多いと感じる。</p> <p>ポピュレーションアプローチ等で広く歯科保健の大切さを広めつつ、ご指摘いただいたところも検討し、今後の啓発に生かしたい。</p>
岡本委員 (会長)	<p>妊婦は口腔バランスがくずれやすい。また、50歳以降も歯周病が急増する。歯周病は、症状があまりなく、出た時にはかなりの治療が必要なため、潜在的に歯科受診をしなければと思っている人はいる。</p> <p>きっかけ作りのため、50歳の節目で無料ハガキを出してほしい。継続した予算確保へのアプローチをしてほしい。</p> <p>歯周病検査キットは、歯周病の酵素活性を見るのかと思うが、15分でできるとの事。このようなものも有効に活用するのはいいと思う。</p>
今井委員	<p>歯周病検査キットをイベントでしたら、良いきっかけにはなると思うが、価格はいくらか。</p>
事務局	<p>一人につき1,200円。</p> <p>歯科医院だとチェックと保健指導込3,000円程度でされている。近隣でも実施している歯科医院もある。</p>
今井委員	<p>意識の高い人は3,000円でもしたいと思うだろうが、意識が低い人がどこまで払えるかが課題。もう少し安いと皆に広く実施できるのでは。</p>
岡本委員 (会長)	<p>訪問診療でもできるのではないかと。</p> <p>野々村委員に歯周病リスクと特定健診のことについて伺いたい。</p>
野々村委員	<p>特定健診では歯の話は患者側からも医療者側からも時間がないということもありほとんど出てこない。</p> <p>今は健診項目に口腔の検査はないが、歯周病リスクチェックを加えればアプローチがしやすくなると思う。</p> <p>特定健診時に歯周病検査キットを勧めることは、年齢で区切る</p>

	<p>など対象を限定すれば、できるかもしれない。キットやチラシを対象者に送付することやポスターの掲示も可能。</p> <p>このチェックはイベントですということだが、判定によって病院受診を勧めることになるのか。</p>
岡本委員 (会長)	<p>診断はできないが、意識づけの一つとして、スクリーニングになると思う。</p>
野々村委員	<p>歯周病の有無の判定だけでは効果があるのか不安。</p>
事務局	<p>リスク無から低、高リスク有までの5段階判定になる。結果により歯科受診を勧めたいと思う。</p>
岡本委員 (会長)	<p>他自治体での導入状況はどのようになっているのか。</p>
事務局	<p>歯周病検査キットのメーカーは大分県にあり、九州歯科大学との産学共同で開発・製品化した経緯から、九州地方を中心に実証事業も含め、多く使用されていると聞いている。近畿では大阪の豊中市で妊婦に配付し、歯科健（検）診受診率向上につながっている。</p>
松川委員	<p>歯周病と糖尿病は関連がある。また、認知症との関連も言われている。一般市民の方は認知症に関心がある方も多いので、認知症関連のデータを用いて啓発も有効かと思う。</p>
高田委員	<p>中学校では学校歯科健（検）診の後に受診勧奨をしている。概ね、受診されるが、そうでない家庭もある。</p> <p>学校管理下では年1回の健診と中学1年生を対象とした歯科健康教育も実施していただいているので、意識づけはできていると思う。</p>
林委員	<p>フッ化物洗口について、当園は昨年度見送っていた時期があったが、今年度は希望者に予定通り実施している。また、年1回は歯科健（検）診をしているので、受診を促している。</p> <p>歯科健（検）診について、年1回の健康診査のときにセットされていると受診しやすいと思う。セット健診のようにすることはできないのか。総合病院になるのかもしれないが一体的に受診できる環境づくりも必要ではないか。</p> <p>国も歯科健診の重要性を最近言及したと聞いた。期待をしている。</p>
松川委員	<p>国が言及した歯科健診の義務化については、具体的に話は進んでいるのか。</p>

<p>岡本委員 (会長)</p>	<p>日本歯科医師会が職域での歯科健診の義務化について以前から要望していた。骨太方針の中で、歯科健診を充実させる方向性となったとは聞いているが、具体的な実施方法については全く話があがっていない。開業医の意見も取り入れてくれるのかも分からない。このまま健診が始まり、受診者が殺到すると開業医はパンクする。目的としては、予防と早期発見およびオーラルフレイル対策、最終的には医療費の削減と理解している。</p> <p>国民全員が定期的に歯科健（検）診を受けるのはいいことである。</p>
<p>野々村委員</p>	<p>かかりつけの歯科医を持っている人はいいが、ない人はどこで健診を受けるべきなのか。</p> <p>例えば、週の1、2回、歯科医師による歯科健診を受けることが出来る日を設け、特定健診等のオプションで受診可能ということは出来るかもしれない。歯科疾患リスクが高い人に歯科受診を勧めたい。</p>
<p>岡本委員 (会長)</p>	<p>高齢者施設（介護予防）ではどのような取組があるのか。</p>
<p>兼松委員</p>	<p>高齢者デイサービスを利用する人は75歳以上が多い。治療で受診している人が多い。利用者の3割程度はこれまで歯磨き習慣のある人や、口腔ケア意識を持っている人でデイでも歯を磨く習慣がある。残りの7割の人にはどうアプローチしたらいいか、思案しているところ。</p> <p>守山顔のみえる会等の研修があると、口腔ケアに関心が高くなったという声を聞く一方、コロナ禍で口腔ケアをしなくなった（出来なくなった）事業所（デイ、老健など）もあると聞いた。理由は、宿直施設での洗面台がコロナの感染源ではないかという報道が出て不安が広がったから。この件で口腔ケアを止めるのは簡単であったが、再開するのが難しいことを実感した。</p> <p>「出来るだけ最期までお口で食べるためのチェックシート」というチラシをケアマネに配付されているが、これをケアマネのみで行うのは難しいこともある。デイサービスでは毎日「ご飯美味しい？食べたら歯を磨こうね。」と職員がアプローチすることも可能であるため、ケアマネ限定の啓発だけではなく、事業所へのアプローチをしてみてもどうか。また、家族も関心が高まっているように</p>

	<p>思う。アプローチの幅は広い方がいいのではないか。</p>
岡本委員 (会長)	<p>ケアマネを通しての啓発だけではなく、現場で直接、利用者さん と関わっている職員さんへも啓発をすることは大切だと思う。 介護施設（事業所）への啓発について、どのように考えるか。</p>
事務局	<p>介護サービスを利用している人には、ケアマネがついているた め、ケアプランに位置づけることを目標に「出来るだけ最期までお 口で食べるためのチェックシート」を配付した。口腔ケアの観点を 忘れることがないようにケアマネへのアプローチに加え、幅広く 口腔ケアの向上に努めていきたい。</p> <p>高齢者の支援の点については、歩行、転倒、栄養、認知症などあ らゆる点に繋がっているため、通いの場等でも積極的にオーラル フレイル予防について啓発したい。</p>
岡本委員 (会長)	<p>在宅歯科医療連携室の講師派遣も活用して頂きたい。 障害がある人に対する施策について、コラボにこにこ歯科保健 事業については今年度実施する予定となっているが、何か意見は あるか。</p>
戸梶委員	<p>障害種別によっては、歯周病について話をしても理解が難しい 人がいるが、コラボにこにこ歯科保健事業を通じて、家族やスタッ フに啓発をしてもらっている。この事業が障害者の方への啓発に 繋がっている。</p> <p>治療に繋がっているかという点については、湖南地域障がい者 通所事業所歯科保健連絡会の会合で、（介護給付サービス外の）障 害者移動支援サービス（※補足参照）を利用して歯科治療に行っ てもらった事例が紹介された。介護給付サービスでは様々な制限があ り、歯科治療のために利用することが困難な場合があったが、良い 事例だということで、7月開催の会合で事業所の利用者に歯科治 療に移動支援を利用してもらうことを提案する予定。但し、移動支 援実施事業所の人員にも限界があり、時間を確保できるかの壁が ある。</p>
岡本委員 (会長)	<p>コラボにこにこ歯科保健事業は草津保健所の事業か。</p>
戸梶委員	<p>コラボにこにこ歯科保健事業は草津保健所が事務局として応援 を頂き、歯科保健連絡会が主となり取組んでいる。</p>

※補足

移動支援事業は、障害者が社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等の社会参加のための外出時の移動支援を行うもので、市町単位で内容を決定し、事業の範囲や利用者負担等が市町により異なる。利用する際は障害福祉課へ申請し、市が契約した事業所で利用できる。本来は定期的な通院には使用できないサービスとされている。

3 協議事項

(2) 健康関連計画の市民アンケート調査について

事務局	資料3-1、資料3-2に基づき説明
岡本委員 (会長)	前回のアンケートをある程度踏襲しないといけない。加えて何か聞くべきことがあるか。
事務局	問14で定期的に歯科健診を受けてない理由を聞いているが、受けた人にその理由を聞く方が良いか。
松川委員	歯周病検診は受診した母数が少ないので、受診理由を直接訊くことが出来ると思うので、アンケート調査で広く問うのは(案)の通りで問題ないと思う。
岡本委員 (会長)	次回の会議で、ほぼアンケート結果が出ていると考えたらよいのか。
事務局	その通り。
林委員	問14「なぜ、受けないのか」ではなく、「どうだったら受けるか」という訊き方でも良いのではないか。
事務局	問14-2で改善方法をお尋ねする自由記載欄を設けることも検討する。
岡本委員 (会長)	林委員の意見のように、前向きに聞けるように工夫してほしい。
岡本委員 (会長)	他に意見がなければ、事務局にお返しする。
事務局	アンケート調査については8月上旬から9月にかけて実施する。 頂いた意見は事務局で整え、健康づくり推進協議会でも報告する。 次回の協議会は10月下旬から11月上旬に開催予定。